令和５年度　佐久間小学校　学校評価報告書

Ⅰ　令和５年度の取組

【徳】　互いに思いやり、認め合う子　「やさしく」	【知】　自ら学ぶ子　「かしこく」	【体】　粘り強くやり抜く子　「たくましく」
○豊かな心を育む ・自他を尊重する心の育成 ・郷土を愛する心の育成 ・命を大切にする心の育成	○確かな学力を育む ・基礎的・基本的な知識や技能の定着 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・情報活用能力の育成 ・言語能力の育成	○自ら道を切り開く力を育む ・健康と体力の向上 ・自己表現する機会の設定 ・児童が主体的に取り組める教育活動の工夫

Ⅱ　自己評価

○児童の評価（４点満点）

令和５年度　2学期　佐久間小学校学校評価（児童用）

番号	聞きたいこと	2学期平均	R5年度1学期	評価2以下の人数
かしこく				
1	先生方は、勉強がよく分かるように教えてくれる。	3.9	3.9	
2	先生方は「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思うような授業をしてくれる。	3.6	3.5	1
3	わたしは、毎日、学年にふさわしい家庭学習に取り組んでいる。	3.4	3.5	1
4	わたしは、よく本を読んでいる。	2.7	2.9	8
5	わたしは、自分の考えを発表することができる。	3.3	3.3	1
6	わたしは、目と心と耳で聞き、やさしい話し方で自分の考えを友達に伝えることができる。	3.5	3.5	1
やさしく				
7	先生方は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	3.9	3.7	
8	わたしのクラスは楽しく、教室は安心できる場所である。	3.6	3.6	1
9	わたしは、元気のよいあいさつと返事ができている。	3.4	3.1	3
10	わたしは、友達にやさしくしたり、生き物や植物を大切にしたりしている。	3.4	3.5	1
11	おうちの人は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	3.6	3.6	2
たくましく				
12	先生方は、命の大切さや社会のきまりを教えてくれる。	3.8	3.8	
13	わたしは、健康・安全に気をつけて生活している。	3.6	3.7	
14	わたしは、進んで運動に取り組んでいる。	3.4	3.6	2
その他				
15	学習や生活や友達のことなどについて、先生方に相談しやすい。	3.5	3.4	2
16	自分にはいいところがある。	3.2	3.1	3
17	わたしには、夢があり、チャレンジしていることがある。	3.5	3.8	2

1学期より0.2P「上がった」

1学期より0.2P「下がった」

○保護者の評価（４点満点）

令和５年度　２学期　佐久間小学校学校評価（保護者用）

番号	質問事項	2学期平均	R５年度1学期	評価2以下の人数
かしこく				
1	学校は、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。	3.4	3.6	
2	学校は、子供の興味や意欲を高める授業を工夫している。	3.5	3.4	
3	子供は、毎日、家庭学習に取り組んでいる。	3.5	3.6	
4	子供は、読書に取り組んでいる。	2.6	2.4	8
5	子供は、自分の考えを発表することができる。	3.2	3.3	1
やさしく				
6	学校は、児童一人一人を理解し、大切にしている。	3.8	3.7	
7	学校は、いじめのない学校、学級、集団作りに取り組んでいる。	3.6	3.7	
8	子供は、気持ちのよいあいさつと返事ができている。	3.4	3.6	1
9	子供は、友達にやさしくしたり、生き物や植物を大切にしたりしている。	3.4	3.4	
たくましく				
10	学校は、子供に生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教えている。	3.6	3.7	
11	学校は、子供の安全確保や健康管理のための取組を十分行っている。	3.5	3.7	
12	子供は、健康・安全に気をつけて生活している。	3.3	3.5	
13	子供は、進んで運動に取り組んでいる。	3.3	3.4	2
その他				
14	学校は、三者面談や教育相談等がしやすい。	3.5	3.6	
15	学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。	3.5	3.4	
16	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。	3.6	3.8	
17	私は、我が子が頑張ったとき、認めたり、ほめたりしている。	3.5	3.5	

1学期より0.2P「上がった」

1学期より0.2P「下がった」

○職員の評価　＋教育課程編成での方策

・発表している人の方を向いたり意見や感想を言うや感想発表の場面で、挙手する子供が増えた。校内研修とも関連させながら、話す力や聞く力の育成を図っていきたい。
・教師が児童一人一人の実態をしっかりと把握し、その子の良さを伝えていてくれている。だからこそ、子供たちは安心して友達と接することができるのだと思う。
・朝活動や昼休みなど、体をしっかり動かしている子供の姿が見られる。様々な運動経験ができるよう、環境整備に努めていきたい。
・思いやりのある子が多く、困ったときの手助けや頑張っている友達への応援など、よくできている。帰りの会で「良いところ見つけ」をやっているクラスもあり、良さをしっかり認めている子が多いので、日課内に位置づけて校内に広げていきたい。

Ⅲ　学校運営協議会による学校関係者評価
＋学校いじめ防止基本方針

・少人数であるが、一人一人の子供に寄り添って愛情をもって先生が向かっている。微笑ましい限り。
・地域の人と一体となって全て取り組んでいるところが良いと思う。
・授業でも自分の意見が言えるような環境作りや雰囲気を作ってくれ、楽しそうに生き生きとした姿が見られた。先生方が、自分らしさを出せるように考えてくださっているのが伝わってくる。
・子供の発想を大切にしている姿に感心した。授業中は、一人の子供に対してじっくり対応し待つことのできる教師に感心した。４月から比べると、教師と子供同士、深いつながりができていることに感心した。
・少人数ならではの工夫を凝らした行事づくり企画立案に取り組んでいる。引き続きよろしくお願いしたい。
・「浜松市立佐久間小学校いじめ防止基本方針」については、提示案を了解した。引き続き、全職員一丸となって指導に当たってほしい。

Ⅳ　今後の改善方策

・今年度から学校教育目標を「やさしく　かしこく　たくましく」とし、子供も職員も３つの資質のバランスの良い成長を意識して教育活動を推進し、自ら考え、判断して行動できる、これからの時代を生き抜いていくための資質・能力を身につけた子供の育成に努めてきた。特に今年度は「心のたくましさ」に焦点をあて、学習や行事などあらゆる教育活動で子供たちにめあてをもたせて取り組ませ、ふり返りをすることで次の活動への更なるめあてをもたせる手立てを講じた。次年度も引き続き「めあて」と「ふり返り」をキーワードにして、教育活動の更なる充実を図っていく。
・職員は常に「いじめ防止基本方針」を念頭に未然防止にむけて指導に当たり、特に「はままついじめアンケート」や「生活アンケート」から、児童の心の「揺れ」の早期発見に努めた。次年度も、情報を速やかに全職員で共有し組織として対応していく。
・子供の声を受けて、図書環境の充実や日課の見直しなどを行うことで、子供が安心して楽しく過ごせる学校環境を整えていく。